

2021年

vol.238

2月号

VOLUNTEER による福祉のまちづくり

ぼらんていあ情報

編集・発行

米子市ボランティア協議会 / 米子市ボランティアセンター

レイアウト

米子ワークホーム

米子市フードパートナー事業 寄付登録者大募集

よなご暮らしサポートセンターでは、生活に困られている方の問題を地域のこととして考え、お互いに助け合う地域づくりを目指すため、「フードパートナー事業」を行っています。

みなさんのご協力をお願いいたします。

■目的 市民・企業・商店のみなさんから食材・食品を募り、生活に困られている方へ提供することで、自立への支援を行います。

■事業の流れ

①フードパートナー事業に協力していただける市民・企業・商店のみなさんは、事前に米子市社会福祉協議会（よなご暮らしサポートセンター）へ寄付食材・食品を登録していただきます。

②生活に困って相談に来られた方への聞き取りを行い、生活状況に応じてみなさんから登録いただいた寄付品（食材・食料）をお渡しします。

取扱いい品

インスタント食品、レトルト食品、パックごはん、缶詰、米、野菜、お菓子など。

◎寄付の条件

未開封で賞味期限（要明記）が2ヶ月以上残っている食品で常温保管可能な食品。

*協力者のみなさまには事前にご登録いただき、利用申込がありましたら食料品の提供をお願いします。

■登録・問い合わせ

米子市社会福祉協議会 よなご暮らしサポートセンター

月曜～金曜日 9時～17時

TEL 35-3570



高校生ボランティアリレー



12月13日に、ふれあいの里で「鳥取県高等学校青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター」が開催されました。県内4校のJRC部員が集まって、防災プログラムやワークショップなどの研修が行われました。

非常食体験では、火や電気を使わずに化学反応で熱をつくってご飯を温めました。グループワークでは、現在コロナウイルスが流行している中で自分たちにできることは何かということを他校の人達と話し合いました。なかなかできないような体験ができてよかったです。今回の活動を生かしてこれから頑張りたいです。

鳥取県立米子西高等学校JRC（青少年赤十字）部 一橋・岡本



米子市 ボランティア 協議会だより

【報告】

米子市交通バリアフリー 推進協議会

高齢者、障がい者に関する団体代表として、米子市ボラ協より私を含め2名が参加しています。他に学識経験者、道路管理に関わる機関、警察、JR、日の丸、日交、ハイヤータクシー協会、行政、商工会議所等の代表者が集まり、年2回開催されています。1回は、2班に分かれて庁外で現地点検し、問題点について検討、次回の会議では、指摘のあった点が、どのように改善されたか各機関より報告があります。資料には、問題点のあった場所が、いつも写真入りで示されているので、とても分かりやすいです。

2020年11月の現地点検では学生の参加があり（YMCA、高専）、アイマスクや車椅子の実体験をされ、直接

意見を聞くことが出来ました。これからも、ぜひ参加して頂きたいです。

車での移動が多い今、時には歩道を歩き、あらゆる事に目を向け、全ての人が安心して暮らせる様に、心配りしたいものです。

塚根 泰子

情報誌編集局

『ぼらんていあ情報』は今年度より2ヶ月に1回の発行にさせていただきます。スタートしました。

4月号は今まで通り発行できたのですが、新型コロナウイルスの流行により、イベント開催が難しくなったり、ボランティア活動の自粛など、情報誌に掲載する内容が減ってしまいました。そこで6月号はやむなく休刊ということになり、皆様にご迷惑をおかけしました。

8月号以降は発行しましたが、イベント・研修会などの情報は先が見えないため少ない状態が続いています。来年度も2ヶ月に1回のペースで発行の予定です。

皆様にもご意見をいただき、より良い誌面にできればと思っております。ご協力よろしくお願いいたします。

友松 由加利

活動報告

リモートカフェをしました！

これまで、鳥取県立総合療育センター内の交流コーナーで、お子様たちと触れ合いながらのカフェ活動を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症等の関係で、今までのように行うのが難しくなりました。そこで、夏から秋にかけては、換気の良い庭で行う、「ガーデンカフェ」となりました。けれど、寒くなったため、今回、ネットを使っている「リモートカフェ」が新登場！ 入所棟外の部屋にいる私たちと、入所棟のお子様たちとをネットをつなぎ、モニターを見ながらやり取りをするカフェです。

「いらっしやいませ。ご注文は何にされますか？」（ほっとスタッフ）
「アップルにします」（お子様）

「では、アップルをお願いします」（ほっとスタッフ）と、入所棟におられる職員さんに飲み物を用意していただきます。直接、触れ合うことはできませんでしたが、新しい試みの楽しいカフェになりました。

（ほっとスタッフ）



ボランティアデータ

11月1日～12月31日

新規個人登録	1人
新規団体登録	1団体
依頼（要請・お願い）	0件
相談（助言・情報提供）	12件
コーディネート	8件
（うち活動団体 / 1団体、個人 / 7人）	
※センターを通して行われたデータです。	
登録	4,897人
登録グループ	123団体

令和2年12月31日現在



11月16日～1月15日

12月

◆10日…誌面打合せ（友松）

◆15日…米子市地域福祉計画・

地域福祉活動計画推進委員会（中村）



冊子・書籍貸出しについて

様々な活動に活用していただけるよう冊子・書籍の貸出しを行っております。傾聴関係の書籍一式は、センター登録団体「よなご傾聴しあわせの会」様よりご寄贈していただいたものです。ご興味のある方は、是非ご利用ください。

■冊子・書籍一覧

- ・避難所のこと考えたぞう！
- ・震災がつなぐ全国ネットワーク
- ・水害発生！どうつくる？水害ボランティアセンター
- ・災害がつなぐ全国ネットワーク
- ・物資が来たぞう！！考えたぞう！！
- ・阪神・淡路大震災から学ぶ／救援物資の送り方、受け方、配り方
- ・震災がつなぐ全国ネットワーク
- ・一目でわかる傾聴ボランティア
- （鈴木絹英）
- ・1日5分 成功する話の聴き方
- （鈴木絹英）

- ・傾聴ボランティアのすすめ
- （ホールファミリーケア協会）など
- 貸出し期間
- 原則1ヶ月でお願いします。
- 申請方法
- センター指定申請書にご記入ください。



令和3年度 ボランティア活動保険について

ボランティア活動中のさまざまな事故による「ケガ」や「損害賠償責任」を補償します。さらに後遺障害もフルカバーなので安心です。

■加入申込人（加入対象者）

米子市社会福祉協議会およびその構成員・会員ならびに米子市社会福祉協議会が運営するボランティアセンターに登録されているボランティアグループ、団体。

■対象となるボランティア活動

日本国内における「自発的な意思に

より他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」で、次の①から③までのいずれかに該当する活動とします。

- ①グループの会則に則り企画、立案された活動であること。
- ②社会福祉協議会に届け出た活動であること。
- ③社会福祉協議会に委嘱された活動であること。

■補償期間（保険期間）

令和3年4月1日午前0時から
令和4年3月31日午後12時までとなります。

◎中途加入の場合は、加入申込手続き完了日の翌日午前0時から

令和4年3月31日午後12時までとなります。

■保険料（1名あたり）

・基本プラン 350円

・天災・地震補償プラン 500円

※「特定感染症補償」に新型コロナウイルス感染症が追加され、ボランティア自身がボランティア活動中に特定感染症を発病した場合に補償されます。その他、補償内容等の詳細については、リーフレットもありますのでセンターまでお問合せください。

■手続き

令和3年3月1日から

■問い合わせ・申込先

米子市ボランティアセンター
（水曜休館日）

TEL 23-5455
FAX 37-3855

まち 私たちの地域のアスリート

～パラリンピック 車いすフェンシングについて～

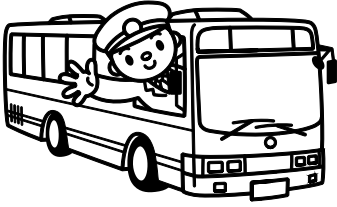
車いすを固定した状態で競技を行う車いすフェンシングは、一般のフェンシングと同じ剣や防具を使用する。かけ引きとスピード感が魅力で、ルールも一般の競技規則に準じる。胴体のみを突く「フルーレ」、上半身を突く「エペ」、上半身を突き、斬る「サーベル」の3種目が実施されている。

オリンピックのフェンシングのように、足を使って前後に移動するなど全身で戦えないため、相手と至近距離で絶えず突き合うことになる。正確な剣づかいのテクニックはもちろん、高い集中力や強い精神力が必要とされる競技です。



まちがい探し

まちがいが3つあるよ。
探してみてね。



- 「ぼらんでいあ情報」の置いてあるところ
公民館・市役所・市立図書館・市児童文化センター・
市文化ホール・鳥取銀行市内各店・米子信用金庫市内各店・
日交バスセンター・ふれあいの里等

◆この情報誌に関するお問い合わせ先

〒683-0811

米子市錦町1丁目139-3「ふれあいの里」内

TEL 23-5455 FAX 37-3855

E-mail: veyonago@chukai.ne.jp

ボランティアに関する情報をお気軽に寄せ下さい。

イベント&講座

令和2年度あいサポートメッセンジャー ステップアップ研修開催

あいサポーター研修の講師役である「あいサポートメッセンジャー」を対象に障がいと人権についての理解を深めていただくとともに、先輩メッセンジャーから講師役としての技術・ヒントを習得するための研修会です。また、メッセンジャー同士の交流会も同時開催します。

■日時 2月22日(月) 13:30～16:00 (受付開始 13:00)

■場所 倉吉未来中心「セミナールーム3」

■内容 ①「障がい」と「人権」について
～人権学習資料『HOPE!』を使った学習の提案～
講師：公益社団法人鳥取県人権文化センター
次長兼上席専任研究員 尾崎 真理子氏

②いろいろな研修方法とコツについて

講師：鳥取市人権推進課

あいサポートメッセンジャー 田中秀幸氏

③あいサポートメッセンジャー交流会(30分程度です)

■対象 あいサポートメッセンジャー 30名程度

※定員になり次第締め切ります

■締切 2月12日(金) ■参加費 無料

■申込方法 希望の方は、問合わせ先までFAX又は電子メールにてお申込みください。

■問合わせ・申込み先

鳥取県社会福祉協議会 福祉振興部

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 県立福祉人材研修センター内

メールアドレス：aisapo@tottori-wel.or.jp

TEL0857 (59) 6344 FAX0857 (59) 6340

●●●団体紹介●●●

★福生西一区子供見守り隊★

日本の将来を担う子供たちが地元地域で元気にすくすくと育ってほしいとの思いや自分たちの地域の子供は自分たちで守るという思いから、地域の有志が立ち上がり、平成28年からボランティア活動として行っています。

現在は、8名が参加しており主に小学1・2年生を対象に登下校時間に合わせ交通安全や声掛けなど不審者から守るために、時には自宅まで付き添ったり、公園・空き家などを中心に地域内を巡回して不審者の発見につとめる



など、子供たちを犯罪被害から守る活動を続けています。
代表 田中 伴一

2月・3月休館日

【2月】

3日、10日、17日、24日

【3月】

3日、10日、17日、24日、31日

※水曜日が祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

開所時間 8:30～17:15

編集後記

コロナと言い始めてから1年が経ちました。当初は私たちには関係なくそのうち収まるだろうと思っていました。が、大きな間違いでした。収まるどころかますます広がっているように、人と出会うことや、買い物にもとても気を遣う毎日です。早く以前の日常が戻ってくるいいな!

(とも)